

「通り抜け」のご案内

造幣局の所在地であるこの辺りは、昔から景勝の地として名高く、春は桜、夏は涼み船、秋は月などと四季おりおりの賑わいをみせ、特に春には、対岸を桜の宮と呼ぶにふさわしく、この地一帯に桜が咲き乱れていたそうです。

造幣局の桜は、明治の始め、藤堂藩の蔵屋敷（現在、重要文化財に指定されている泉布観の北側）から移植されたもので、品種が多いばかりでなく、他では見られない珍しい里桜が集められていました。

明治16年（1883年）、当時の造幣局長遠藤謹助の「大阪市民の皆さんと一緒に花見を楽しもうではないか。」との発案で、混雑緩和のため一方通行にして一般に開放することとなりました。

これがいつしか「通り抜け」と呼ばれるようになり、今日までの永きにわたり大阪市民をはじめとした多くの皆様に親しまれ、「大阪に花の里あり通り抜け」（本田溪花坊作）と詠われるように愛されています。

現在ここにある桜は、関山・松月・普賢象・黄桜・楊貴妃などの八重桜が主です。

なかでも、大手毬・小手毬などは造幣局以外ではめったに見られない珍種といわれています。

もともと、桜は煤煙や塵埃などで汚染された環境の中では育ち難く、特にここにある品種は生育が困難とされていますので、専門家の指導を受け、できる限りの手入れに努めています。

どうか皆様、大阪の名所「通り抜け」の桜を今後とも末永く保存するため、可愛がってください。

造幣局

平成28年で通り抜けは
133年を迎えることになりました。

品種 133種

本数 349本

今年の花 牡丹

妹めい
背せき

de to the "TORINUKE"
y-Blossom-Viewing through the "Tunnel"

sund here, where the Mint Bureau is located, has long
er its scenic beauty. It has featured lively atmosphere of
"cherry-blossom-viewing in spring", "bear climbing to
air in summer" and "viewing the moon in autumn".
pring, the entire area of the Yodo riverside lanes was
cherry blossoms in full bloom as the name of the
represents "Sakura-no-miya" or "Palace of Cherry

owers of the Mint Bureau, both widely cultivated and
ut to be seen elsewhere, were transplanted early in
d from the premises of the Todo clan's residence
north of the Sempukan designated as an important
ji.

Since Mr. Kinsuke Endo, then Director-General of the Mint Bureau,
suggested admiring the beauty of cherry blossoms together with all
the citizens of Osaka city, this annual event started as a northbound
lane for cherry-blossom-viewing through the "Tunnel" in 1883.

His suggestion inspired the creation of the word "Torinuke" which
has become quite popular since then. The "Torinuke" has been
cherished by many people, not to mention the citizens of Osaka city,
as the poem goes:

In Osaka, Here is
One Home of Cherry Blossoms.
"Cherry-blossom-Viewing through the Tunnel."

The majority of trees are late-blooming, double-petaled varieties
such as Kanzan, Shogatsu, Fugenzo, Kizakura and Yoshino.

Among them Otemari and Kodemari are said to be scarcely seen
in any other places.

Originally the cherry tree by nature is hard to grow in a polluted
environment of dust and smoke.

The trees in our Mint are particularly sensitive varieties. Therefore,
we exert almost efforts in our cultivation of the trees under the
guidance of specialists.

We hope cherry blossoms of the "Torinuke", as one of the
attractions of Osaka, forever remain to be admired and cherished by
all the visitors.

Japan Mint

The year of 2016 marks 133 years of the Japan
Mint Cherry Blossom-Viewing in Osaka.
Number of varieties : 133 kinds
Number of trees : 349

Blossom of the Year - Botan















京橋駅
大阪城北詰駅

最寄りの駅
地下鉄 清森町駅
JR 桜ノ宮駅
JR 茶屋町駅
JR 大阪天満宮駅
JR 大阪城北詰駅

通訳

通訳

AED

禁煙
No smoking

飲食禁止
No eating/drinking

造幣局製品販売所

SALES OF MINT PRODUC

出口専用
ここからは
入れません。

出口専用
ここからは
入れません。

天滿警察署警察・詔戸

最寄駅へは、徒歩 10~15 分

北門出口

この門は出口専用です 再入場はできません

JR
(環状線)

JR
(東西線)











桜之宮公園 泉布観地区



旧明治天皇記念館正面玄関

(旧造幣寮鑄造場玄関、重要文化財)

明治維新後、新政府は新たな貨幣制度を整えるために、その基礎となる統一貨幣の製造工場として、大阪に造幣寮をつくることを決定した。わが国最初期の本格的な西洋式の大工場群であり、明治四年（一八七二）に落成式を迎えた。その中心的建物が鑄造場であり、解体の際にその正面玄関を移設し、昭和一〇年（一九三五）に完成した明治天皇記念館の正面玄関としたものである。

泉布観と同様にウオートルスの設計による。ギリシャ建築をおもわせる円柱をもつ構造で、わが国の近代建築の黎明期を飾る建築として、泉布観と同様に貴重である。建物の本体部分は鉄骨鉄筋コンクリート造である。

大阪市
大阪市教育委員会

平成24年度「みどり香るまちづくり」企画コンテスト
にむかへ・かおり環境協会賞受賞
大阪府公会堂～みどりと歴史・文化の香る公園
主催：環境省
共催：公益社団法人 にむかへ・かおり環境協会
公益社団法人 日本アロマ環境協会
一般社団法人 日本国木協会
平成25年3月27日 植樹日
※植木等提供：公益社団法人 日本アロマ環境協会